

平成 29 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 アルバック
代 表 者 名 代表取締役執行役員社長 岩下 節生
(コード番号:6728 東証一部)
問 合 せ 先 執行役員 IR 室長 梅 田 彰
(TEL: 0467-89-2033 大代表)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、この度、平成 32 年 6 月期までの中期経営計画を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

当社グループは、創業以来、「真空技術で産業と科学の発展に貢献」すべく、幅広い業界のお取引先とともに、真空技術を活用したイノベーションに挑戦し、新たな価値の創造に取り組んでまいりました。

平成 29 年 6 月期までの 3 年間の中期経営計画では、確実・安定的に収益確保できる体制の確立を目指し事業構造改革を進め、計画を上回る売上・利益を計上し、収益構造・財務体質の改善を進めてまいりました。

本中期経営計画におきましては、大型 TV 向け LCD(液晶)・スマートフォン向け OLED(有機 EL)等の活発な設備投資を背景とした FPD(フラット・パネル・ディスプレイ)製造装置の旺盛な需要に着実に対応するとともに、スマート社会化の潮流の中でイノベーションに挑戦し、半導体・電子機器事業において、新たな装置需要を創出し続けることで、持続的な成長と企業価値向上に取り組んでまいります。

1. 目指す姿

- ▶ 真空技術の総合利用と装置・材料・成膜加工・分析・サービスのシナジー効果の最大化やグローバルなビジネスパートナーとの連携による高い収益性の企業経営
- ▶ 次の飛躍のための人づくり、果敢に挑戦する企業文化

2. 経営基盤の強化

- ①人財の育成(事業推進力アップ)
 - ・次世代経営幹部の育成
 - ・グローバルな人財登用・育成
- ②グループ連携の深化(ものづくり力アップ)
 - ・グローバルな開発・調達・生産体制の強化とコストダウン
 - ・研究開発投資の拡大(3年間で 500 億円程度)
 - ・グローバル市場・技術戦略の加速
- ③情報基盤の整備(状況判断力アップ)
 - ・IT の活用による情報収集・管理の効率向上
- ④財務体質の強化(成長投資力アップ)
 - ・自己資本比率改善等の財務体質の更なる強化

3. 重点戦略

(1)事業成長の推進

- ・FPD 事業の盤石化
- ・半導体・電子機器事業の強化
- ・グローバル展開

(2)価値創造力の向上

- ・マーケティング強化と独創的な技術・商品開発
- ・グローバルな調達・生産体制強化とコストダウン

4. 平成 31 年度(最終年度)の目標

中期経営計画期間を通じて着実に事業拡大を果たすことで、増収増益を確保し、営業利益率についても改善いたします。

(1)売上高	2,500 億円
(2)営業利益	350 億円
(3)営業利益率	14%

以上

(注)本資料には、当社の計画、数値目標などが含まれておりますが、これらは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績等は、業況の変化等により上記計画、数値目標とは大きく異なる場合があります。